

補助事業番号 19-11
補助事業名 平成 19 年度機械工業に係る分光学の普及啓発補助事業
補助事業者名 社団法人 日本分光学会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

分光学会の活動の一つであるシンポジウム中で、国際化を目指してアジアセッションを組み入れる試みを行っている。これをより発展させ、活発な研究をしている外国人研究者を招聘して、分光学国際シンポジウムとして開催する。分光学は、高度化、情報化する産業機器、計測機器の開発の基礎として極めて重要であり、これにより分光学とそれに関連する諸分野の研究、開発活動の一層の活発化を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容 <http://www.bunkou.or.jp>

上記目的達成のため、以下の事業を実施する。

分光学国際シンポジウムの開催

分光学会のシンポジウムとして、数名程度の招聘外国人研究者を含む 10 数名の招待講演者による分光学国際シンポジウムを 2 日間の日程で開催する。講演者には、数ページの予稿を書いてもらい、予稿集として参加者に配付する。予稿は、一定の分量を要求し、講演者の講演内容を含むレビューとしての役割を持たせる。

開催場所は、東京工業大学 100 年記念館で、実施時期は平成 19 年 11 月 12 日～14 日の日本分光学会の年次講演会の一環として行った。

2. 予想される事業実施効果

国の科学技術政策の重点 4 分野のうち、ライフサイエンス、環境、ナノテクノロジーと分光学は密接に結びついており、このような分野の研究開発を推進する上で、分光学の果たす役割は極めて大きいと考えている。本事業は「国際シンポジウム」の開催を通じて、先端的な技術動向を探ろうとする試みである。特に近年、半導体製造技術の中でのプラズマ診断技術や、テラヘルツ光による様々な診断技術の開発などは、成長の著しい分野であり注目を集めている。このような分野での最先端の研究者を集めて国際シンポジウムを行うことの意義は、我が国が常に最先端の技術を取り入れた製品開発を行う能力を維持していく上で、非常に重要である。

3. 本事業により作成した印刷物等

The Annual Meeting of the Spectroscopical Society of Japan
平成 19 年度 社団法人 日本分光学会 年次講演会

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社団法人 日本分光学会

住所： 101-0047

東京都千代田区内神田 1-11-6 大丸アネックス 201 号室

代表者： 会長 寺前 紀夫（テラマエ ノリオ）

担当部署： 事務局

担当者名： 事務局長 村山 和永（ムラヤマ カズナガ）

電話番号： 03-3291-5221

FAX 番号： 03-3291-5228

E - mail： office@bunkou.or.jp

U R L： <http://www.bunkou.or.jp>